

# くよみ通信

No. 33 2021/08/01

## 市民の森を創る会の「仁田谷地」を見学 (菅原記)

7月1日、北環状線のケーズデンキの南に広がる「仁田谷地」を見学しました。

こんな身近なところに、こんな広い谷地があるとは、知りませんでした。

案内してくれたのは「せんだい・市民の森を創る会」の角田さん。15年から整備を始めたそうです。

一周3キロくらいの遊歩道と、ベンチやテーブルを配置した広場が作られています。角田さんのお話だと、仁田谷



谷入岡のて角田さん。仁田谷地は、案内した角田さん

↑戦後になって樹木が発達した ↓中央にある「シャンドリアの広場」



↑丸木を渡した橋



↑(名称不明?)



↑湿地のショウブ

地には貴重な野生種のサクラソウ、コシアブラなどが生育しているとのこと。

まだ未整備のエリアには、巨大な岩がゴロゴロしているところもあり、興味深い。

### どんどん変わっていく青陵の森の植物たち

7月15日、青陵の森に入った。つい一カ月前にも見ていた

はずの自然の生態は、蕾だった花が咲き終えようとしていたり、花が終わって実になったり、どんどん季節の変化にそって変わっていていることを実感しました。

まさに一週間とも言えないぐらいに、目まぐるしく姿を変える草花たち。



↑ツリバナの実、5本の筋が見える ←ネジバナ



↑羽子板の羽に似たツクバネの実

### 珀杜、センター共催の青陵の森親子観察会(木村記)

7月11日、珀杜、吉成市民センター共催で「青陵の森親子自然観察会」が開かれ、たくさんの地域の児童・保護者が参加しました。

講師は「太白自然観察の森」の菅原先生です。この葉にはどんな昆虫が集まるか、触ると強烈な匂いをする葉、いつも食べているが見たことがない葉など、先生から聞く話は初めてのことだらけで、びっくりしている子供たちでした。

観察コースの終わりに近いころ、観察路沿いのコナラの木に虫がいっぱい集まり、樹液を吸っており、大歓声でした。

## 2021年8~9月の活動予定

### 8/5(木)

「青陵の森・観察会」  
(※暑さのため中止とします)

### 8/19(木) (※中止を訂正)

「写真選定会議」  
◆集まった写真からリーフレット用を選びます  
●集合 10:00 吉成市民センター  
●会員のみ参加可

### 9/2(木)

「芋沢街道・唸り坂」  
●集合 10:00 ケーズデンキ駐車場  
●会員のみ参加可

### 9/26(日)

「沖縄連携講座」  
●集合 14:00 吉成市民センター  
●会員のみ参加可



↑右端から左に1区画、移動していました